

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

- 例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
- 事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 491-0858

ロータリー:変化をもたらす

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp



2017年8月24日 第3301回例会

会 長 青山 佳裕 副 幹 事 山口 元彦
幹 事 関戸 徹 副 会 長 船橋 正員
会長エレクト 榊原 讓 会報委員長 渡邊 肇

プログラム

インターアクト海外研修報告
修文女子高等学校インターアクトクラブ
館 優奈さん(副会長)
関戸美帆さん(副会長)

- ・7ページから13ページに亘り会員増強・新クラブ結成について、他地区のロータリーがどのような活動をしているかが書かれています。
- 8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」となっております。
- ・次に縦組みに移り、27ページをご覧ください。

ロータリーソング「それでこそロータリー」

第3300回例会の記録 2017年8月10日(木)

会長挨拶 青山佳裕
こんにちは！立秋を迎えましたが暑い暑い盛りです。これ以降は残暑になります。

旧暦のこの時期、松本の七夕はこれからで、きっと梅雨明け後で晴れた夜空には天の川が見れるんじゃないのか彦星と織姫が出会えるはずですよ。

今日は、桃の白桃の日だそうです。八日から十日は、八(は)九(く)十(とう)の語呂合わせからと思います。7月～9月が食べごろで岡山の白桃が元祖とか。選ぶときは、ふっくら丸みで産毛がいっぱいあるものを選んでください。ありがとうございました。

ロータリーの友8月号 委員長 浅井孝介
・横組み3ページをご覧ください。2017-18年度国際ロータリーライズリー会長は、2つの数字をロータリー本部へ提出する事を要望しています。「人道的奉仕に費やした現金・現物寄贈の金額と、ロータリーの名のもとに行った活動した時間」を明確にし、自信を持って公共イメージ活動・会員増強に活用する。それは、「ロータリーって何?」「ロータリーって何をやるの?」の回答にも繋がると仰っています。

次回の予定

小澤 厚義氏
(一宮市立萩原中学校 校長)



ROTARY AT WORK

案内看板を寄贈
歴史に触れて (一宮RC)
市民に親しまれる浅野公園の見どころを紹介する案内看板を一宮市に寄贈。開園100周年、ロータリー財団100周年を祝するような晴天の下、除幕式を行った。今回は浅野長政の邸宅跡を整備して造られ、堀や築山、池など往時の名残を感じさせる。看板は山内一豊が若倉城に戻る途中に浅野邸に立ち寄った際の馬のひづめ跡とされる「馬跡石」など9カ所に設置した。
4月29日 第2760地区 愛知県

一宮RCが、4月29日に行った、浅野公園の見どころを紹介する案内看板を一宮市に寄贈し、除幕式が行われた記事が掲載されております。是非、御一読下さい。

委員会報告

出席報告

現在の会員数
本日のビジター
本日の出席数
他クラブ出席数
本日の出席率
前々回の出席率

副委員長

伊藤幸一
104名
0名
62名
13名
72.11%
97.93%

ニコボックス

☆ 土川保夫君

表千家流哲叟菴茶道教授・東山公正流華道家元 宮崎雅史氏をお招きできたよこびで。

☆ 鴨下昌充君

娘の自宅が完成しました。今後幸せに暮らしていただけますよう祈っています。

☆ 松田暁昌君 山田一仁君

昨年度の事業、浅野公園案内看板寄贈が「ロータリーの友」のロータリーアットワークに掲載していただきました。縦書き27頁です。

☆ 青山佳裕君 関戸 徹君

暑い中、表千家流哲叟菴茶道教授・東山公正流華道家元 宮崎雅史様にお出でいただきお話を聞ける喜びで。

***** プログラム ***** 卓話

宮崎雅史氏

表千家流哲叟菴茶道教授
東山公正流華道家元

テーマ「無茶な環境、陰の環境」



無茶な日本、滅茶苦茶な若者

《利休の茶》は《戦いの茶》であった

☆敗戦後70年たった日本、神、仏は家庭、社会から遠ざかり、道徳、秩序は薄らいだ。

利休さんの戦国の頃の堺の街の混沌な姿とそっくりになってきた。

日本人は宗教の戒律という海図も持たず航路を漂流する笹舟に等しい。

① 敗戦と「政教分離」、滅茶苦茶な浮草日本

a. 日本社会には戒律で支えられ、絆を結ぶ共通の価値観・道徳心があった。

それを失い秩序も失い家庭の崩壊さえ招いている。

b. 「政教分離」とは民族の弱体化を狙い愚民にする政策である。

強い宗教国家、日本の基盤を壊し享楽主義を日々生活にまで染み込ませた。

見事に道徳心まで替えてしまった。

② 利休さんの堺は戦後の日本に似ていた

堺の街は体制が崩壊した戦後の無秩序で弱肉強食の世に、鉄砲を作りそれを売り、傭兵

を雇い、掘り割りで防御する財力は巨万であった。富と社会に貪りが過ぎると「奢れるもの」の訓の如く崩壊に向かう。ここに宗教の意義がある。

③ 南蛮の寺という教会

a. 異様な南蛮の僧・神父(バテレン)を真ん中に異国で神に祈る姿、異国商人が神を畏敬し一体となるセレモニーに「秩序」を見つけた。

b. そこから利休さんは異国の神を仏に置き換え、利休一派の団結の絆に「芯作りのセレモニー」として「茶の道」を見つけ出したのかもしれない。

茶の作法に(1)「パンとブドウ酒」の神と商人との一身同心の儀式(2)一椀の濃茶を共に分け合う一味同心の作法(3)十字に代わる床の間の仏の教えの掛け軸等等など…。

‘茶席’もまた教会にも似る仏前で同志と価値観を同じにする‘教会’の儀式である。

④ 豪商と仏の道と家訓

名古屋にも老舗の家訓と共に茶の道、仏の教えを信奉して400年、栄枯盛衰を乗り越え今に歴史を重ねた老舗の教えがある。

「外を飾らず、心を磨くべし、分限を知り贅を慎むべし」という仏の教えの真髄である、「善をせよ悪をするな」(衆善奉行、諸悪莫作)の家訓を活性し、それを体得する場を茶席という粗和な環境に求め、一服の茶を通して現実社会での「分限を知り贅を慎む家訓」と共に、それを「不易の道」とする茶の家がある。

・老舗の背面の経済活動と茶の道、仏の道があり深い不動の宗教心があった。

⑤ もう日本は政教分離ではいけない

a. アメリカは道徳も宗教も政治と表裏一体。

強い社会、国は政治と宗教は不分離ではない。分離すれば道徳も消える。子供にも家庭にも何処にも宗教があり、国家があり教会が聳え、オバマ大統領もトランプ大統領も同じ協会、バイブルに畏敬の念を持ち国の安寧を誓う。ドル紙幣にさえIN GOD I TRUST がある。

b. 日本の家庭に今は神仏もいない。道徳教育はできない。

今は茶の稽古にさえも無関心、うわべの稽古で終わる。

歯止めのきかない骨抜きが続く…これがむちゃくちゃな今の日本…。

例会変更案内

クラブ名	例会日	例会場	受付
尾西	9月4日(月)	尾西信用金庫本店	有
犬山	8月29日(火)	名鉄犬山ホテル	有
一宮中央	8月30日(水)	一宮商工会議所ビル1階	有

※ 時間に指定のないクラブの受付は12:00～12:30です。